

中期財政見通し

(令和3年度～令和10年度)

【ダイジェスト版】

令和2年10月

登別市

目次

1.はじめに	1
2.当市財政の現状	2
3.中期財政見通しの基本的考え方	5
4.中期財政見通し	6
5.中期財政見通しの再見直し.....	15
6.今後の財政運営について	16

※各スライド表内数値は項目別に四捨五入しているため、合計や差引が一致しない場合があります。

1. はじめに

中期財政見通しとは

- ▶ 市税や交付税などの歳入試算や、今後実施する施策などを盛り込んだ歳出試算を作成し、中期的な財政収支の見通しを明らかにするもの

登別市の中期財政見通し

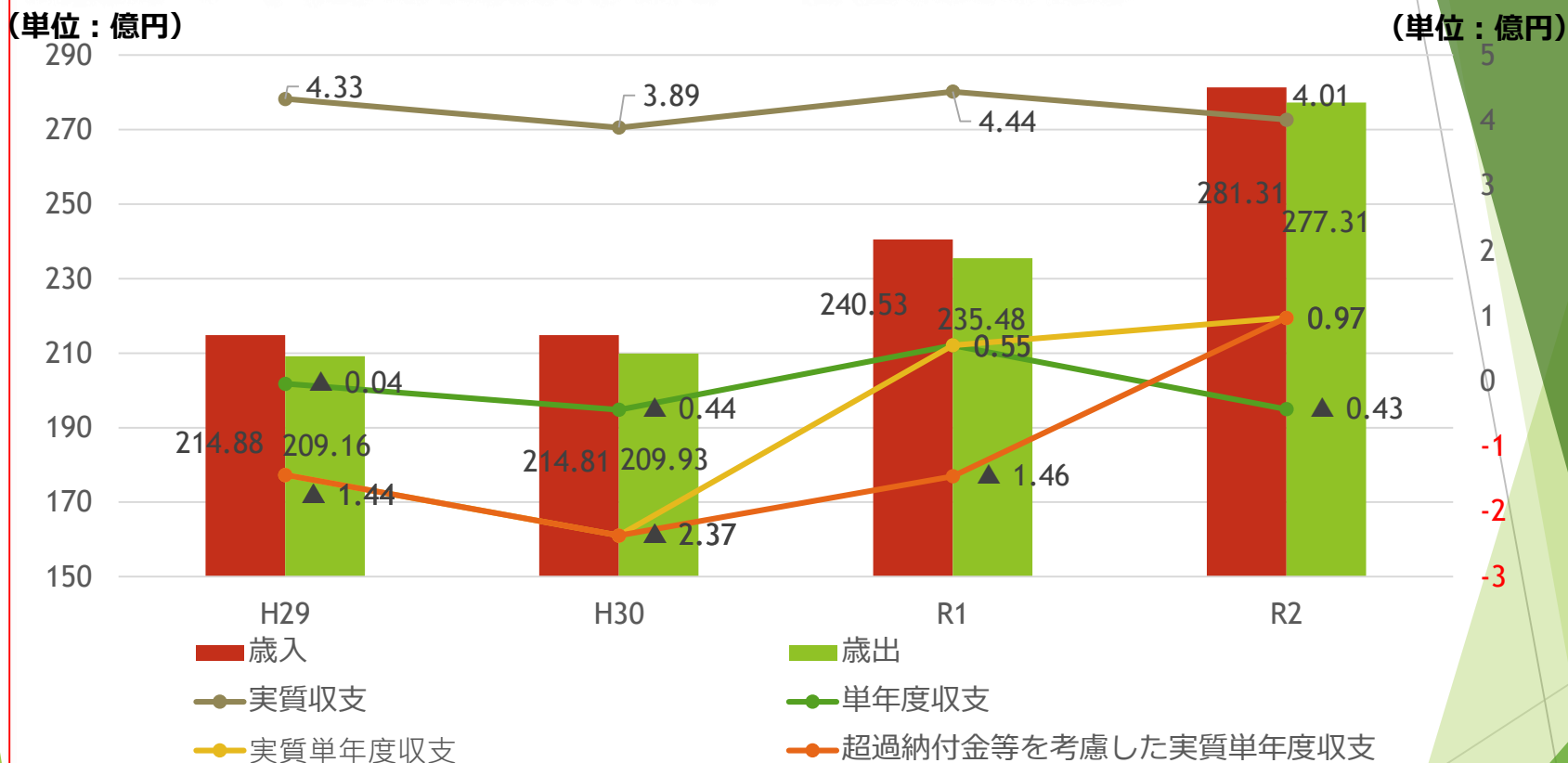
- ▶ 4年毎に計画期間を8年間とした見通しの更新・見直しを行っており、今回は令和3年度から令和10年度を計画期間とする

中期財政見通し作成の目的

- ▶ 総合計画に位置付けた施策や「大型事業推進プラン」など他の計画で予定された事業の実施にあたっての財源的な裏付けや検討を行うため
- ▶ 計画的かつ安定的な財政運営を行うため
- ▶ 財政健全化に向けた取組策を検討するため
- ▶ 市民の皆様に行財政運営への理解を深めてもらうため

2. 当市財政の現状①

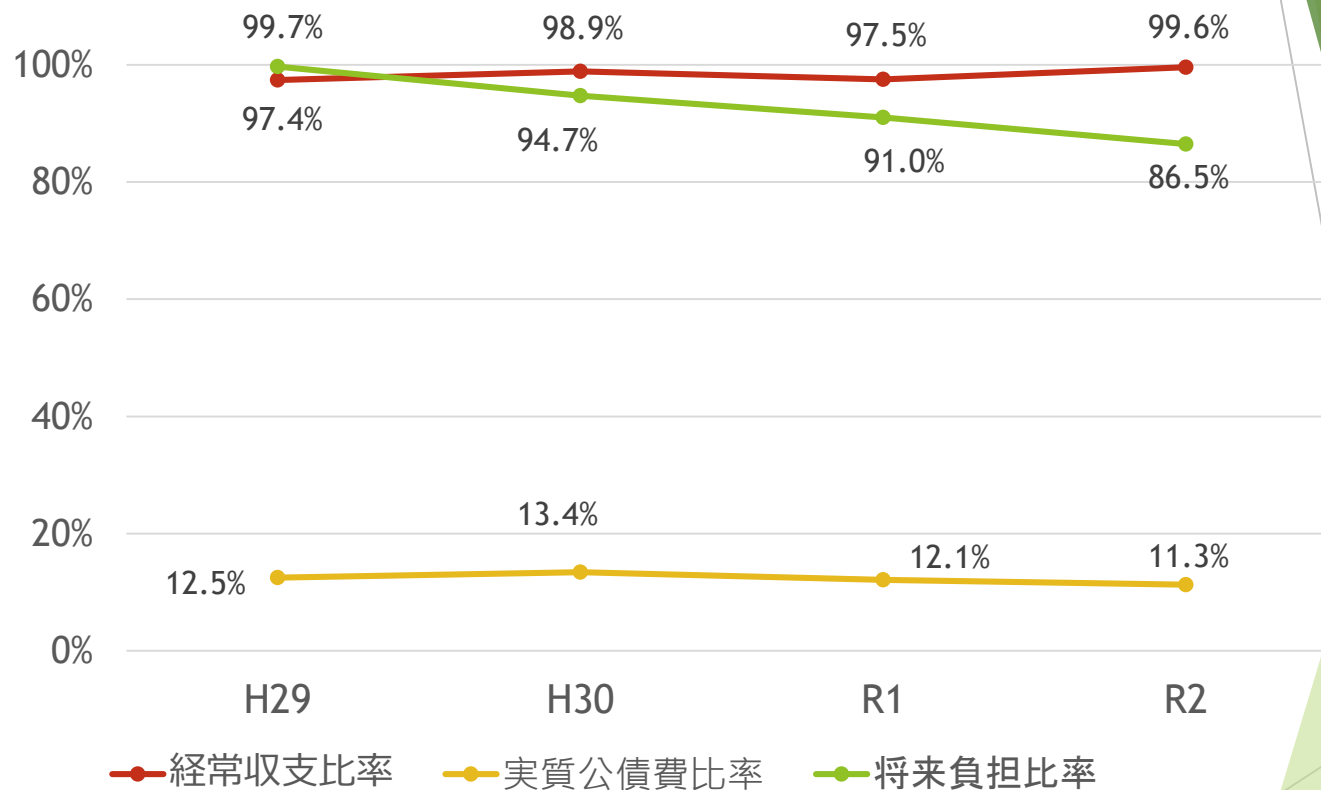
過去4年間の財政状況 —各種収支の推移—



- 平成30年度まで実質単年度収支は3年連続の赤字
- 令和元年度にプラスに転じるも、備荒資金組合超過納付金等を考慮すると1.46億円の赤字で4年連続の赤字
- 令和2年度にはプラスに転じる見込み

2. 当市財政の現状②

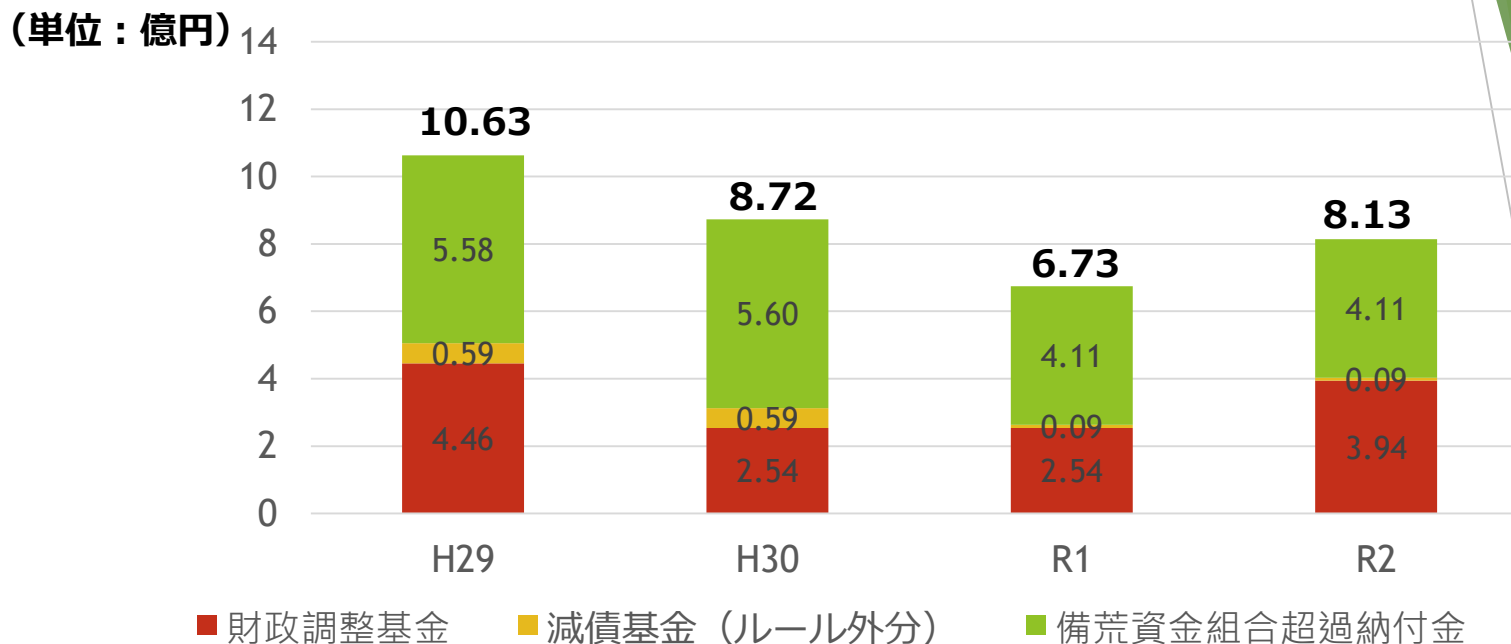
過去4年間の財政状況 –財政指標の推移–



- 経常収支比率 市税の減により令和2年度は大きく悪化
- 実質公債費比率 公債費の減などから改善傾向で推移
- 将来負担比率 市債残高の減などから改善傾向で推移

2. 当市財政の現状③

過去4年間の財政状況 —財源調整用基金等残高の推移—



- 平成28年度から4年連続取り崩しを行った結果、令和元年度に6.73億円まで減少。令和2年度には1.4億円の積み立てにより8.13億円まで増加するも平成29年度と比較すると2.5億円の減

令和2年度の基金残高は平成29年度から2.5億円の減少。経常収支比率も依然100%に近く、財政の硬直化が続いていることから、更新する中期財政見通しに基づき計画的な財政運営を！

3. 中期財政見通しの基本的考え方

(1) 試算の範囲

(対象会計) 普通会計（一般会計及び学校給食事業特別会計）

(期 間) 令和3年度～令和10年度

(2) 試算の前提

(制 度) 歳入歳出ともに現行制度が継続することを前提に試算

(人口動態) 国立社会保障・人口問題研究所の推計を基礎として試算

(一般財源等) 人口推計や過年度実績、骨太の方針などを参考に試算

(投資的経費) 併行して見直しを行った「大型事業推進プラン」、「廃止施設等除却推進プラン」に登載した全事業費を計上したほか、プラン対象外事業についても、実施計画ローリングや過年度の事業実績などを踏まえ計上

(3) 試算の方法

歳入歳出ともにこれまでの決算や予算などを基礎にできる限り個別に分析し、決算ベースとして試算

(4) 収支の表示方法と財源不足の補てん

前年度繰越金を除く歳入歳出差引額（単年度収支）を表示し、単年度の財源不足額を財源調整用基金等からの繰入金で補てんする方法により試算

4. 中期財政見通し①

8年間の試算結果 —収支の見通し—



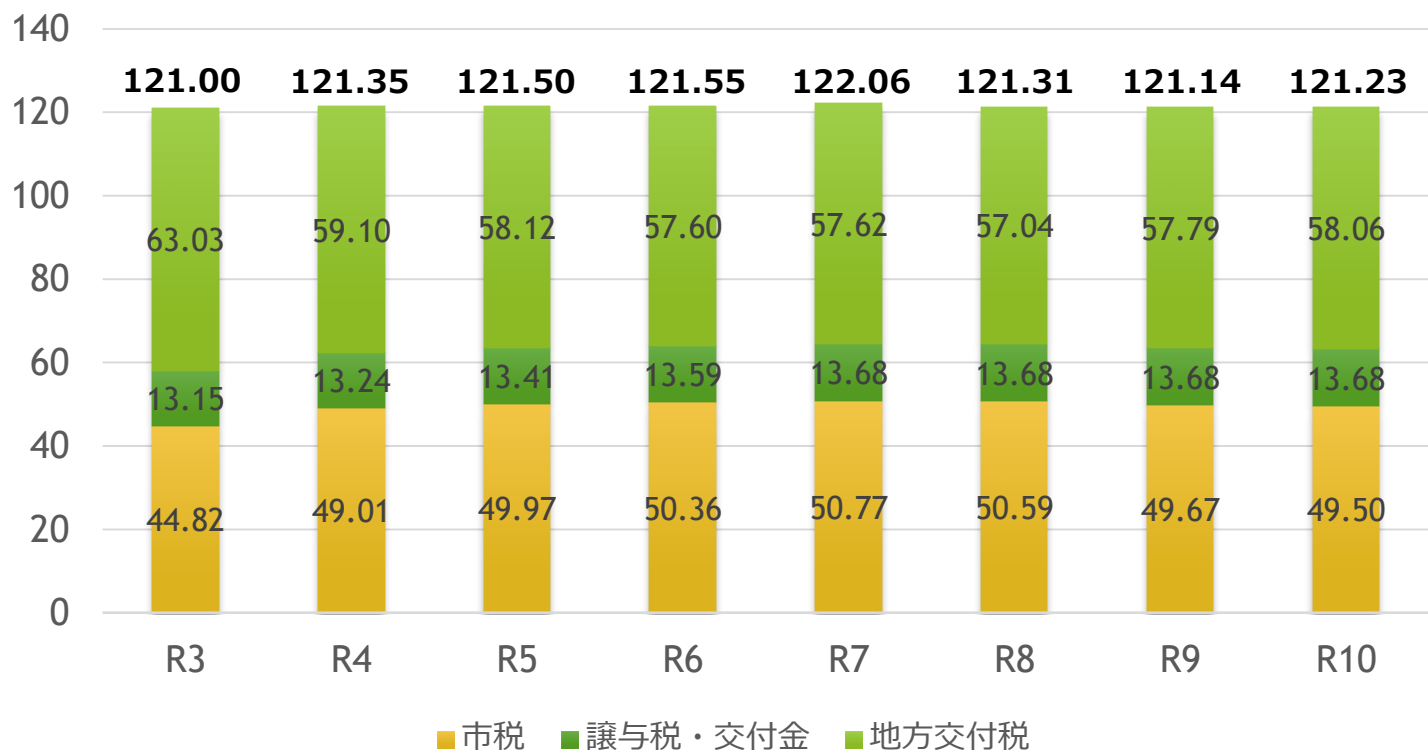
- 単年度収支は3年度で黒字、5年度で赤字
- 消防本部新庁舎の建設事業の本格化などから、令和5年度に歳出のピークを迎え、以降は200億円台で推移

➔ **8年間の累積収支は1.16億円の赤字**

4. 中期財政見通し②

8年間の試算結果 歳入 ー一般財源の見通しー

(単位：億円)



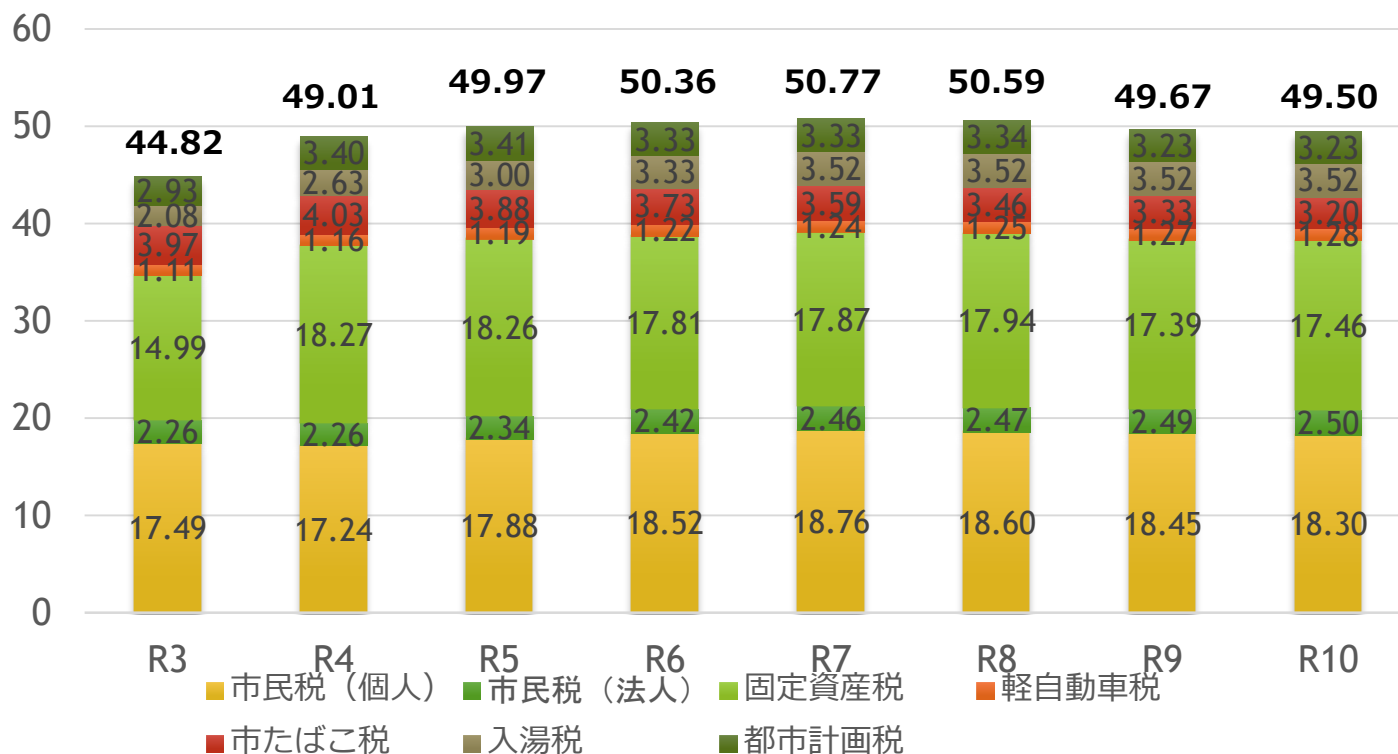
- 市税は令和3年度に大きく落ち込み、そこから令和7年度まで増加傾向で推移するも、以降は再び減少傾向で推移し、地方交付税は令和3年度に市税減少の影響から大きく増となり、以降は同水準で推移

➡ 一般財源全体では概ね同水準で推移

4. 中期財政見通し③

8年間の試算結果 歳入 —市税の見通し—

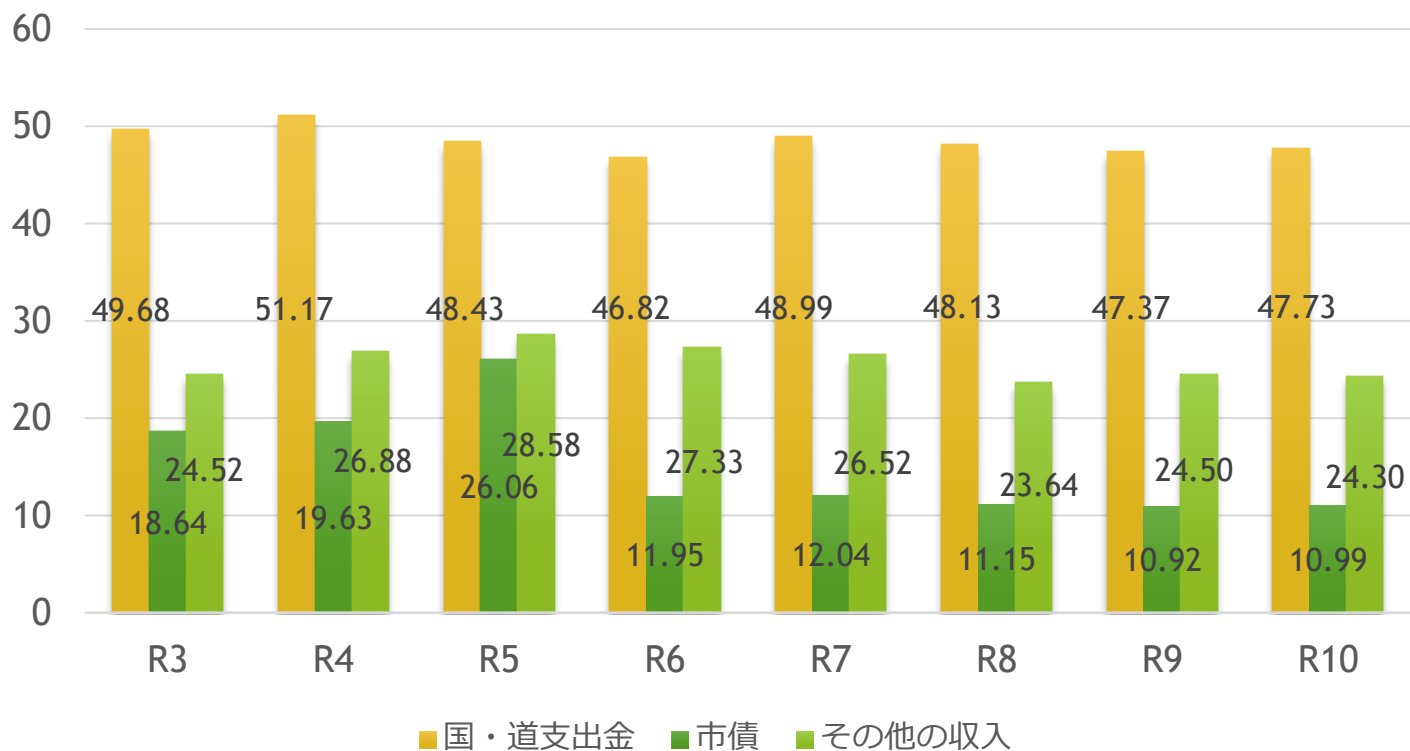
(単位：億円)



- 令和2年度の調定額や人口推計、新型コロナウイルスの影響はリーマンショック時の決算などを参考に試算
- 市税全般で、新型コロナウイルスの影響から令和3年度に大きく減
➡ **新型コロナウイルスからの回復は令和7年度と見込む**

4. 中期財政見通し④

8年間の試算結果 歳入 ー国・道支出金、市債、その他ー (単位：億円)

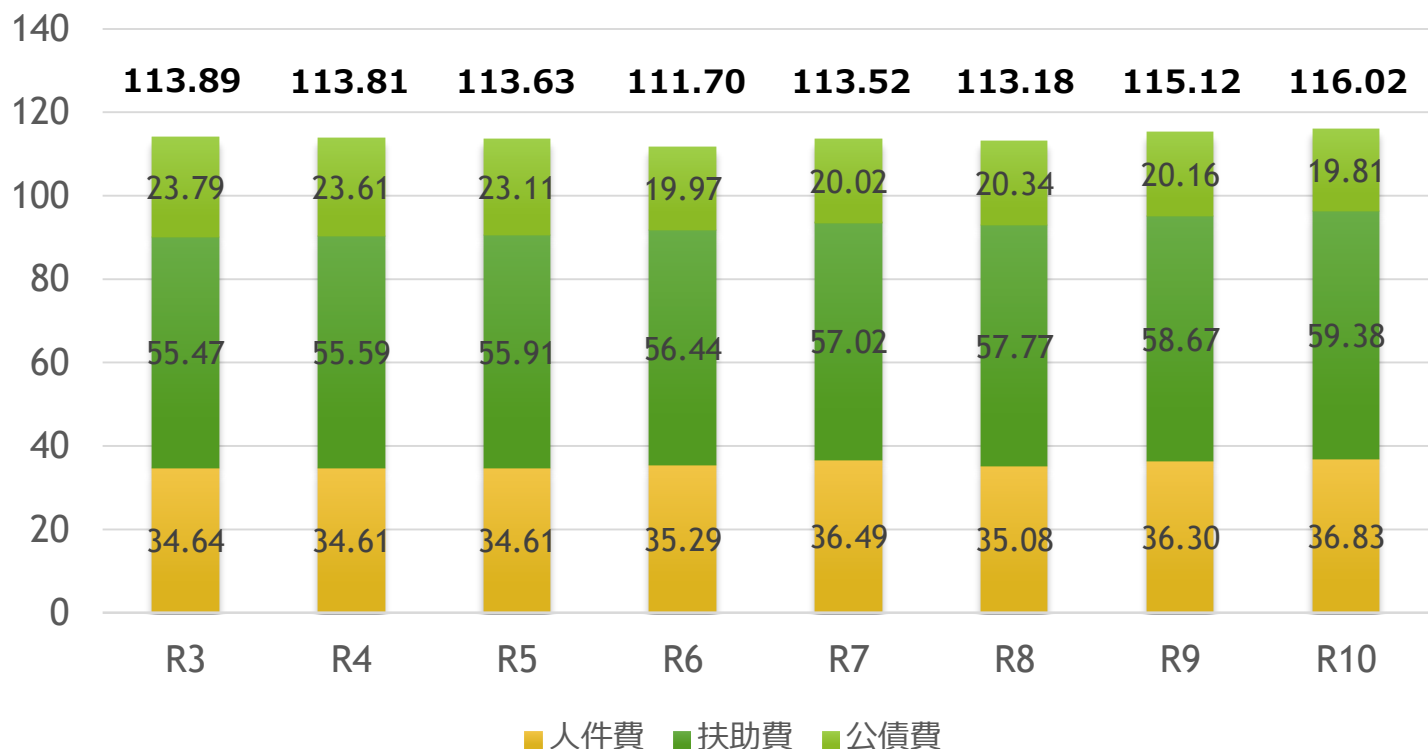


- **国・道支出金** 期間を通じ、50億円前後で推移
- **市債** 消防本部新庁舎の建設事業により令和5年度に大きく増となるも、以降は減少傾向で推移
- **その他の収入** 期間を通じ、ふるさと納税を年間8.34億円見込む

4. 中期財政見通し⑤

8年間の試算結果 歳出 —義務的経費の見通し—

(単位：億円)

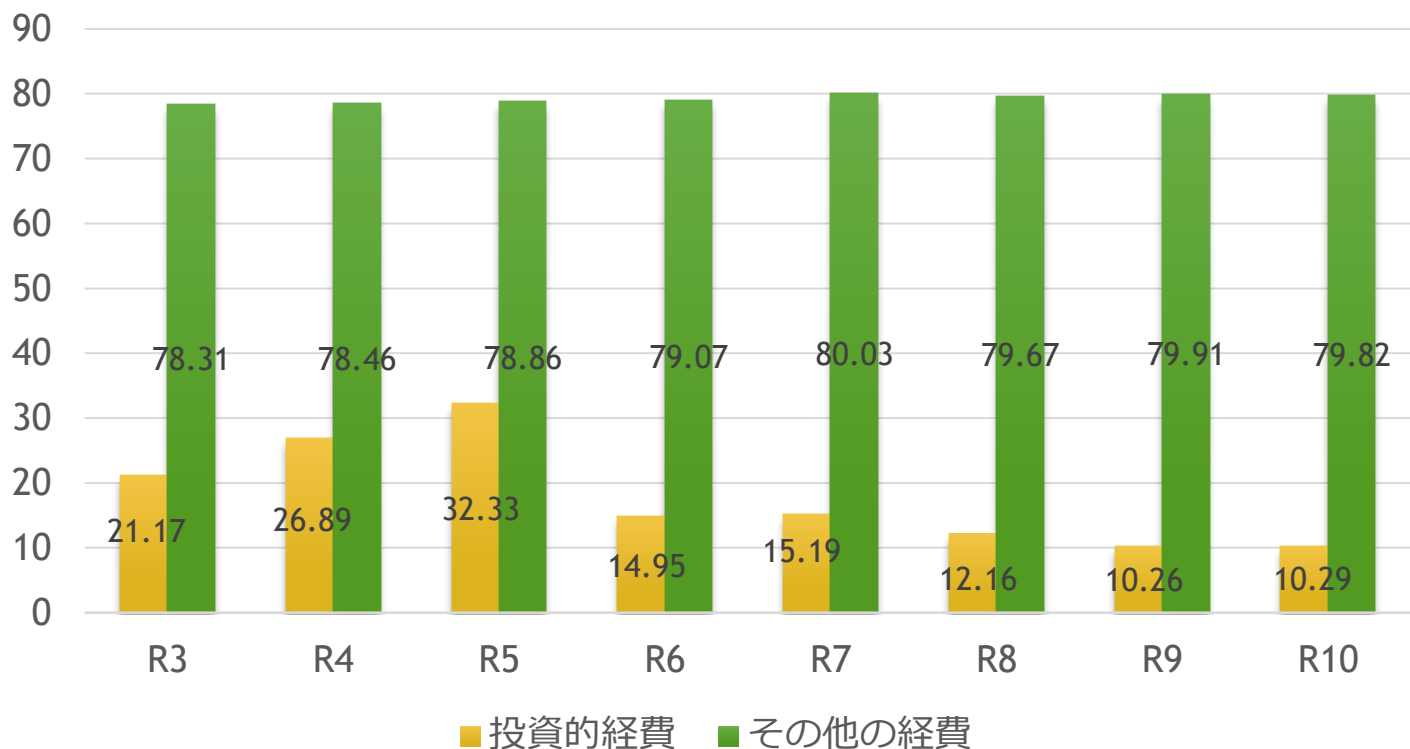


- **人件費** 退職手当の増減はあるものの、概ね同水準で推移
- **扶助費** 期間を通じ増加傾向で推移
- **公債費** 令和5年度に土地開発公社解散時に借入れた第三セクター等改革推進債の償還が終了することにより、令和6年度に大きく減

4. 中期財政見通し⑥

8年間の試算結果 歳出 —投資的経費、その他—

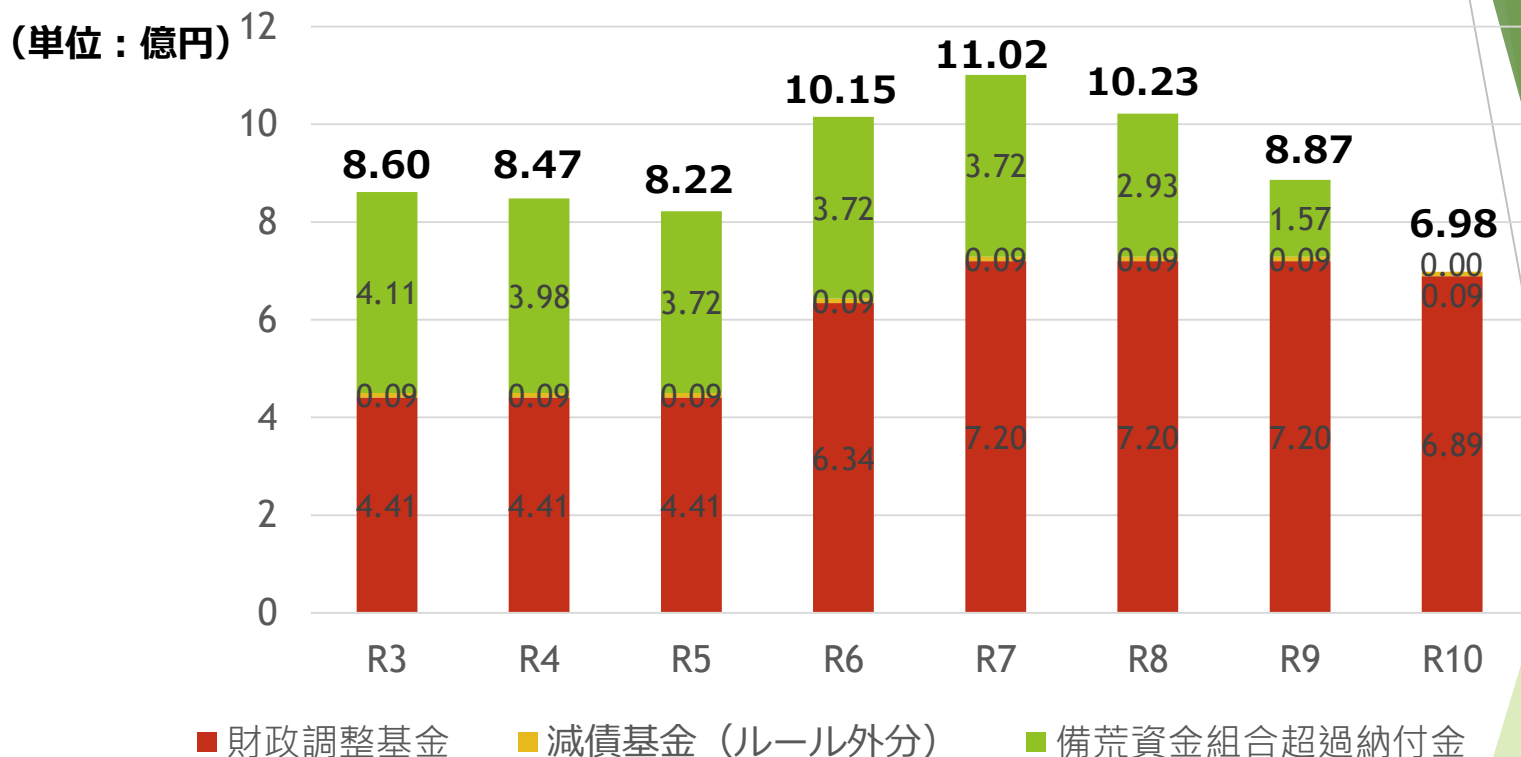
(単位：億円)



- **投資的経費** 令和3年度から増加傾向で推移し、消防本部新庁舎の建設事業が本格化する令和5年度にピークを迎え、以降は減少傾向で推移
- **その他の経費** 期間を通じ、概ね同水準で推移

4. 中期財政見通し⑦

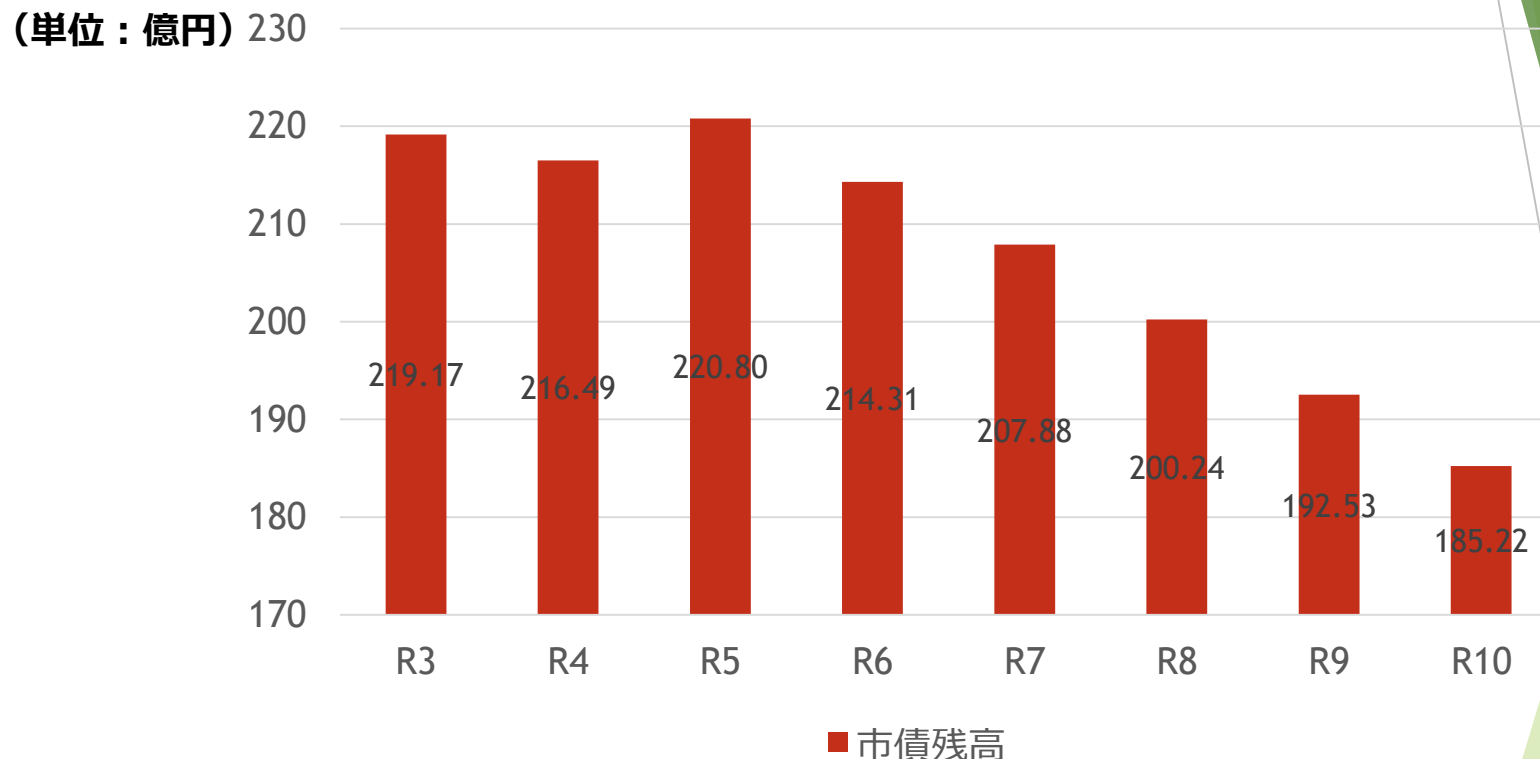
8年間の試算結果 –財源調整用基金等残高の見通し–



- 公債費が減となり、単年度収支が黒字となる令和6年度に大きく増加し、令和7年度には11億円を超えるも、令和8年度以降は、市税の減などにより減少に転じ、令和10年度残高は7億円を下回る見込み。

4. 中期財政見通し⑧

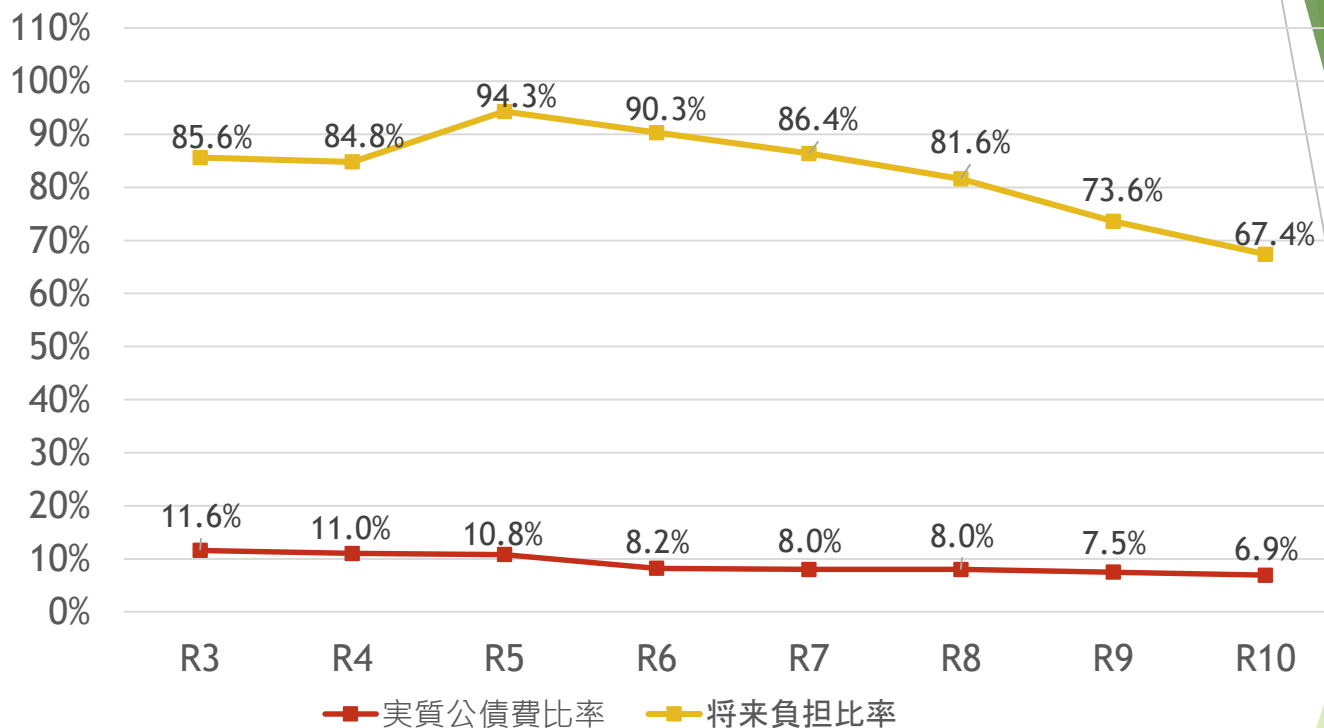
8年間の試算結果 –市債残高の見通し–



- 消防本部新庁舎の建設事業が本格化する令和5年度に一時的に増加するものの、以降は減少傾向で推移し、令和10年度残高は令和2年度末残高から37.80億円減の185.22億円となる見込み

4. 中期財政見通し⑨

8年間の試算結果 -財政指標の見通し-



- **実質公債費比率** 公債費の減少などから、期間を通じ改善傾向で推移
- **将来負担比率** 消防本部新庁舎建設時の起債の借入れにより、令和5年度に一時的に悪化するも、以降は市債残高が減少していくことなどから、改善傾向で推移

5. 中期財政見通しの再見直し

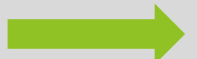
中期財政見通しの更新・見直し作業は、新型コロナウイルスが拡大し、社会情勢・生活環境の変化、財政環境が不透明な状況の中で実施

リーマンショック時の減少率

GDPのマイナス

直近の温泉入込客数

これらを参考に歳入の試算を行うも、過去に例を見ない緊急事態であることから、今回の試算値と実績値には大きな乖離が生じることも・・・

市役所本庁舎の建て替えスケジュールを決定し反映する予定も、津波浸水予測図の見直しに伴い、基本計画等の再検証  反映見送り

これらの理由から

令和3年度、「中期財政見通し」の再見直し

6. 今後の財政運営について

- 累積赤字額は1.16億円も財政調整基金等に対応
- 財源調整用基金等の残高約7億円
- 懸案の大型事業を多く計上

しかし

- 新型コロナウイルスの影響による歳入の大幅下振れ
- 国の動向による地方交付税減額の可能性
- 本庁舎の建て替えを含めた超大型事業は未計上

コロナ禍においても、市民生活に必要なサービスを維持し、財政需要に対応するためには

- 受益者負担の更なる適正化
- 事業評価と予算編成の連動による事務事業の見直し
- 公共施設の除却や統廃合によるコストの削減、歳入の確保